

学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見中学校
授業者	目黒英樹

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海に恩返しする活動を通して学びを深める

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習

1-4. 単元の概要

オンラインで学ぶことが多くなり、校舎から離れて実物や実際の事象を見る機会が極端に減っている。オンラインや机上では学ぶことができないのが、体験活動である。山あいの地域に生活する生徒たちは、実際の海浜の様子を知らない。昨年度も同じ理由で、海浜の様子を実際に見て体験するために、ごみ拾いを計画した。この活動により上流に住む生徒たちの行動が変わり、考え行動できるきっかけを与えたい。また、SDGsの14とその他の項目を共通課題として、関連付けてどのように解決に結びつけるかなどを考え、発表させたい。問題を深掘りしてより自分事としてとらえさせたい。地域の方々と協働で取り組むことで、活動や学びに責任と誇りを持たせたい。自分たちだけでなく地域の方にも海を意識してもらうことで、只見の豊かな自然は海からもたらされているということを意識してもらい、恩返ししたいと考えている。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

課題の解決を通して世界に目を向け、俯瞰的に物事を捉えられるようにする。地域の特性から海洋の視点を持ちにくいのが、地域から活動発信していくことで生徒の視野を広げていきたい。また、今年度は地域と協働で活動することにより、地域包括的なものとし行政や企業との連携も視野に入れたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

地域課題と海洋の問題を通して、自分事としての問題意識を持ち課題の解決に必要な知識及び技能を身につけさせたい。探求的な学習の中で、主体的・協働的に取り組むとともに、多面的・総合的に考え積極的に社会に参画しようとする態度を育みたい。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・海ゴミについて知ろう ・海ゴミの予想を立てる 	<p>図書室の資料や、インターネットから海浜のごみについて学ぶ。その多くがプラスチックであることも、大まかに捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラゴミの中でどんなゴミが多いかなどに注目させる。
2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜で実際に拾ってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市の職員の方に海ゴミのレクチャーをいただきながら、海浜のごみ拾いを行う。
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・海ゴミの実態をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に帰ってきてから、壁新聞形式にレポートをまとめた。日本のゴミはもとより、外国のゴミが多いことに驚く。プラボトルや、プラレジ袋の処分の仕方を考えるきっかけとなった。
8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭で発表をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に来校していただき、ポスターセッションを行った。SDGs 14 を共通課題として、他のターゲットについてもまとめ、発表を行う。現在の問題点や、自分たちに何ができるかなど、改善についても学び発表することができた。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの地域住民に話を聞いていただいたが、どう具体的に取り組むのが良いのかを出し合う時間がとれなかったので、グループセッションを行った。グループ内で出た意見を、クラス内で共有し地域の方に協力いただきながら発信するという方法でまとめることができた。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

現在の海洋の様子を伝え、世界の問題点について発表する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○前時までにとまとめた内容を発表(ポスターセッション)する</p>  <p>○一人1枚のポスターを用いて、発表をする</p> <p>○壁新聞を渡り廊下に掲示する</p>	<p>・共通の課題としてSDGs#13～#15（中心は#14）について選択し、インターネットや文献資料を調べ発表させる。なお、保護者を含め地域の方が入場されるので、感染症予防についてのアナウンスを入れる。</p>  <p>・1人あたり8分程度の持ち時間として、全校生徒が互いに全員の発表を聞くことができるよう配慮する。最初のうちはセッションにならない可能性もあるので、生徒の中で質問者を決めておく。</p> <p>・日頃の生活で目にしやすいところに掲示し、文化祭の発表が終わった後でも意識しやすい掲示を心がける。</p>

3. 今回の活動の自己評価

海浜のゴミ拾いを行った。これは山あいに生活している子どもたちにとって事実を自分の目で確認できる良い方法で、大変効果が高いものだったため今年度も行った。自分事化するのは当然であるが、それと共に活動することで子どもたちに責任と自信が現れてきた。自らの行動を変化させることができたのは非常に効果があった。昨年との比較で上流に住む自分たちが細心の注意を払う必要があるということで終わるだけでなく、地域の大人を巻き込むということで、自分たちが得た知識だけに留まらず、広く社会に発信することの大切さを学ぶことができた。学校で SDG s について学ぶ機会も設けたため、海洋に限らず広い視野で物事を捉えられるようになった。ポスターセッションで他の発表を聞く中で、自分とは違う視点があることにも気づき、より俯瞰的に物事を捉えることができた。遠く離れた場所であっても、身近なところから行動できることを知り教育的効果もより高いものとなった。

4. 今後の課題

今年度は地域を巻き込んで学習するというスタイルであったため、子どもたちに自信と責任が強まっていた。これは地域の方にとっても非常に有益であり、海洋問題が対岸の火事ではないことを意識できるようになった。しかし課題も2点挙げられる。地域の方でも環境に意識が高い人ばかりではなく、今後どのように全員のものにしていくかということである。町全体にポスターを貼って注意喚起をするという意見が子どもたちからあがったが、実施に至らなかった。これをどう具現化していくかが1つ目の課題である。また、子どもたちの意識としては、河川流域の地域全体を巻きこんでいきたいという願いまで発展したがその具体的な方法までは考えることができなかったため、次年度への課題としたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。